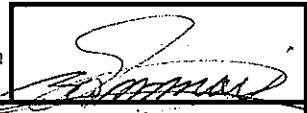


デイリーレポート

船長署名



船 名	大 島 丸		情報発信日時	2024 年 12 月 8 日 12 時 00 分			
現 在 位 置	航海中	12 時 00 分	概位	宮崎県油津沖			
		<Lat. 31 - 27.9	N+S	Long. 131 - 29.0	E+W>		
	停泊中	時 分	概位				
		<Lat. -	N+S	Long. -	E+W>		
	錨泊中	時 分	概位				
	<Lat. -	N+S	Long. -	E+W>			
操業中	時 分	概位					
	<Lat. -	N+S	Long. -	E+W>			
観測中	時 分	概位					
	<Lat. -	N+S	Long. -	E+W>			
本船状況 気象海象	針路：	218 度	船速：	12.5 kt	天候：	bc	
	風向：	NNW	風速：	8.5 m/s	視界：	7 浬	
	波高：	1.0 m	風浪階級：	4	うねり階級：	1	
乗船者 状況	乗組員	現在員：	19 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	生徒	現在員：	13 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	指導教官	現在員：	3 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
	支援員	現在員：	1 名	健康状態：	良好	不良	
		摘要：					
○本船動静 Nil							
○予定変更理由 Nil							

【学校側コメント】

昨日、紀伊半島南端の潮岬から紀伊水道を横断する時、やはり、大阪湾からの吹き出す風のため船体は動揺しました。夕食を摂る時が、風速が一番強くなった時で、波高も増して揺れる中での夕食になりました。吹き出す風は四国東岸に近づくにつれて弱くなり、その後は風も陸地に遮られ快適な航海になりました。

明けて本日、4時頃に足摺岬を通過。暫く航走すると豊後水道を横断しました。ここでも紀伊水道同様に、豊後水道を吹き抜けてくる風（最大瞬間風速20.8m/sを記録）のため、船体は動揺しました。ちなみに、この数日間は冬型の気圧配置のため、大島～鹿児島間の航海は西から北寄り風を受けての航海になります。そうした厳しい状況下でも航海実習は行われます。24時間航海当直は、直に当直航海士や船員から実務そのものを教わる場です。行き交う船舶の動向を探り、いち早く的確な報告をする。実習生もブリッジでは、チームの一員であり、情報を共有し合う一員です。見張りと報告は、航海当直の重要な要件になります。将来の自分自身のためにも生きた実務を経験することは大きな財産になります。一つ一つ積み重ねて行って欲しいと思っています。